

浜の活力再生プラン
令和 5～9 年度
(第 1 期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	美浜町地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 伊藤充宏 (野間漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	野間漁業協同組合、美浜町漁業協同組合 美浜町 美浜町観光協会、美浜町地域ブランド化推進協議会 愛知県知多農林水産事務所 (水産課)
オブザーバー	愛知県 (農業水産局水産課)、愛知県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	愛知県美浜町地域の漁業協同組合 (野間漁協及び美浜町漁協) 正組合員 野間漁協 93 人 (小型底びき網 8 人、海苔養殖 30 人、刺網 29 人、小型定置網 10 人、潜水器 9 人、その他 7 人) 美浜町漁協 25 人 (小型底びき網 12 人、わかめ養殖 7 人、刺網 3 人、小型定置網 10 人) ※複数漁業種類の兼業による重複あり 令和 5 年 3 月現在 (美浜町調べ)
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>美浜町地区は伊勢湾と三河湾に面し、主要な漁業は地先の浅海域を漁場とするのり・わかめ養殖業及び採貝漁業である。</p> <p>伊勢湾側で実施されているのり養殖は令和 3 年には県内生産量の約 15%を生産するなど盛んに行われているが、近年、温暖化や栄養塩の枯渇により養殖期間が短くなっており、生産量は減少傾向にある。三河湾側では、わかめ養殖が積極的に行われており、他地区より早期に出荷できるように採苗することで付加価値を高めて出荷している。</p> <p>採貝漁業の主な魚種はアサリであるが、近年資源量が極度に減少し、漁業経営を圧迫している。また、アサリ資源を活用した潮干狩りの入漁料収入も漁協の大きな収入源であったが、開設できない状況が続き、組合経営にも大きな影響を与えている。一方で、ハマグリ資源が増加してきて</p>

おり、ネット通販などでも取引されるなど地域の期待は大きい。

他には小型底びき網漁業、さし網漁業及び定置網漁業が行われておりカレイ、ガザミ等の漁獲物が都市部へ出荷されている。

野間漁協及び美浜町漁協は、美浜町地域ブランド化推進協議会（会員は野間漁協、美浜町漁協、J A、商工会、美浜町等で計 21 名で構成されており、美浜町に眠っている資源を生かした特産品のブランド化を行っている。以下「協議会」という。）と連携し、地域の水産物のブランド化に積極的に取り組んでおり、美浜産ハマグリ直販などを行っている。また、野間漁協はオリーブ風味、ごま油風味等の味付け海苔、美浜町漁協はアサリの食害生物であるツメタガイを利用した海音貝（うんね）カレー等を開発し、ネット通販や地域の販売店で好評を得ている。今後は、これら美浜町ブランドの水産物を直接販売する施設の整備が課題となっている。

また、当地区の漁業者は高齢化と後継者不足により減少傾向であるため、漁協の運営及び組織維持を図る根本的な経営改善の検討が必要であり、令和 5 年度から組合合併に向けた協議を開始している。

(2) その他の関連する現状等

現在、常滑市沖において名古屋港航路浚渫土砂の埋立処分が実施されており、野間漁協ののり漁場においては埋立に伴う潮流や水質の変化等漁場環境への影響が危惧される。

また、伊勢・三河湾では、慢性的な栄養塩不足によりノリの色落ちによる品質低下やアサリの資源量減少が漁業経営に影響を与えている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

漁協、漁業者及び関係機関が連携して以下の基本方針のもと、各種事業に取り組むことにより、漁業者の所得向上を目指すとともに、将来的な浜の活性化を図っていく。

①アサリ資源再生への取組

- (1) 水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ漁場の環境保全に努める。
- (2) 豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し効果的な放流手法の開発を進める。

②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組

- (1) 母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、県の栽培漁業センターで生産された種苗を放流することで資源量の増大を図る。
- (2) 協議会でブランド名を協議し高付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。

③未利用貝の活用

- (1) カガミガイやシオフキといったこれまで利用されていなかった貝類について既存施設を使い砂抜き・加工を行い付加価値を高め販路を開拓する。

④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進

<p>(1) ばらのりの共同加工施設を整備し、ばらのりの生産を進める。</p> <p>(2) 漁業者の高齢化のため利用が少なくなっている美浜町漁協ののり漁場について、野間漁協からの入漁を検討し活用する。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメを他地区より早期に出荷することで付加価値を高める。</p> <p>(4) ノリ養殖では魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1) 野間漁協及び美浜町漁協は組合直売施設を整備し、地域の水産物を直売する。口コミによるPR効果も期待できる。</p> <p>(2) 美浜町漁協は蓄養施設を活用した砂出しアサリのブランド化を進め、魚価の向上を図る。</p> <p>(3) 地域の小学校での漁業者による出前授業等では、漁業や魚食について知ってもらう食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4) 名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての美浜町産水産物の提供などにより周辺地域や県外での認知度向上を進めていく。</p> <p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1) 船底清掃を定期的に行い燃費効率の向上を図るとともに、漁船のエンジンやノリ乾燥機等について省エネ機器を導入しコスト削減を図る。</p>
--

(2) 資源管理に係る取組

<p>愛知海区漁業調整委員会告示（漁具を定置して行う漁業の漁具の網目に関する指示）</p> <p>愛知県漁業調整規則第 11 条（漁船の総トン数及び馬力数の制限、機船船びき網、小型機船底びき網等）</p> <p>愛知県漁業調整規則第 13 条（漁具の制限、機船船びき網、小型機船底びき網等）</p> <p>愛知県漁業調整規則第 37 条（禁止期間、全長等の制限、禁止区域）</p> <p>○漁場管理計画</p> <p>知多地区のり漁場改善計画（行使柵数制限）</p>

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（令和 5 年度）所得向上率（基準年比）4.5%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①アサリ、二枚貝資源再生への取組</p> <p>(1) 全ての漁協の採貝漁業者は、水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ、二枚貝漁場の環境保全に努める。</p> <p>(2) 全ての漁協は、豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し、生残率を高めるための効果的な放流手法の検討を進める。</p>
---------------------	--

	<p>②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組</p> <p>(1) 母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、全ての漁協は県の栽培漁業センターで生産されたハマグリ種苗の放流を検討する。</p> <p>(2) 協議会でブランド名を協議し付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。</p> <p>③未利用貝の活用</p> <p>(1) 採貝漁業者及び協議会は、これまで利用されていなかった、カガミガイやシオフキなどの貝類についての付加価値向上の方法を検討する。</p> <p>④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進</p> <p>(1) 野間漁協は、ばらのりの生産を希望する漁業者について調査を行い、ばらの共同加工施設の整備について検討を行う。</p> <p>(2) 野間漁協と美浜町漁協は三河湾側のノリ漁場の活用について協議を進める。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメ養殖業者は、容器内で培養した配偶体を糸に付着させる種糸（配偶体がいつでも供給できるため、早く種糸を作出でき、出荷を早められる可能性がある。以下、「フリー配偶体種糸」という。）を活用するなど、早期出荷にむけた試験を行い、ワカメ生産技術の改善に努める。</p> <p>(4) のり養殖業者は、魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1) 野間漁協は組合直売施設の整備について美浜町観光協会、協議会と検討を進める。</p> <p>(2) 美浜町漁協は蓄養施設を活用して砂出ししたアサリの出荷に取り組み、魚価の向上を図る。また、貝類直販施設の検討を進める。</p> <p>(3) 全ての漁協、町及び県は、地域の小学校で漁業者が漁業や魚食について伝える出前授業などの食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4) 全ての漁協、町、協議会は、名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての提供などにより周辺地域や県外での認知度向上を進める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1) 全ての漁業者は船底清掃を定期的に行うことで燃費効率を高め、経費の削減を図る。</p> <p>(2) 全ての漁業者は、漁船の機関やノリ乾燥機について、生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等を導入することで経営基盤の安定・強化を図る。</p>

活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（①－(1)） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑥－(2)）
-----------	--

2年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）4.5%

漁業収入向上のための取組	<p>①アサリ、二枚貝資源再生への取り組み</p> <p>(1) 全ての漁協の採貝漁業者は、水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ、二枚貝漁場の環境保全に努める。</p> <p>(2) 全ての漁協は、豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し、生残率を高めるための効果的な放流手法の検討及び試験を進める。</p> <p>②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組</p> <p>(1) 母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、全ての漁協は県の栽培漁業センターで生産されたハマグリ種苗の放流を検討する。</p> <p>(2) 協議会でブランド名を協議し付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。</p> <p>③未利用貝の活用</p> <p>(1) 採貝漁業者、漁協及び協議会は、これまで利用されていなかった、カガミガイやシオフキなどの貝類についての付加価値向上の方法を検討する。</p> <p>④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進</p> <p>(1) 野間漁協は、ばらのり共同加工施設の整備について検討を行う。</p> <p>(2) 野間漁協と美浜町漁協は三河湾側のノリ漁場の活用について協議を進める。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメ養殖漁業者は、フリー配偶体種糸を活用するなど、早期出荷にむけた取組を行い、ワカメ生産技術の改善に努める。</p> <p>(4) ノリ養殖業者は、魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1) 野間漁協は組合直売施設の整備について美浜町観光協会、協議会と検討を進める。</p> <p>(2) 美浜町漁協は蓄養施設を活用して砂出ししたアサリの出荷に取り組み魚価の向上を図る。また、貝類直販施設の検討を進める。</p> <p>(3) 全ての漁協、町及び県は、地域の小学校で漁業者が漁業や魚食について伝える出前授業などの食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4) 全ての漁協、町、協議会は、名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての提供などにより周辺地域や県外での認知度向上を進めていく。</p>
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1) 全ての漁業者は船底清掃を定期的に行うことで燃費効率を高め、経費の削減を図る。</p> <p>(2) 全ての漁業者は、漁船の機関やノリ乾燥機の生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入することで経営基盤の安定・強化を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産多面的機能発揮対策事業（①－(1)）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑥－(2)）</p> <p>愛知県栽培漁業関係事業（②－(1)、④－(3)）</p>

3年目（令和7年度）所得向上率（基準年比）4.5%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①アサリ、二枚貝資源再生への取組</p> <p>(1) 全ての漁協の採貝漁業者は、水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ、二枚貝漁場の環境保全に努める。</p> <p>(2) 全ての漁協は、豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し、生残率を高めるための効果的な放流手法の試験、結果の検証を行う。</p> <p>②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組</p> <p>(1) 母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、全ての漁協は県の栽培漁業センターで生産されたハマグリ種苗の放流計画を作成する。</p> <p>(2) 協議会でブランド名を協議し付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。</p> <p>③未利用貝の活用</p> <p>(1) 採貝漁業者、漁協及び協議会は、これまで利用されていなかった、カマガイやシオフキなどの貝類についての付加価値向上の方法を開発する。</p> <p>④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進</p> <p>(1) 野間漁協は、ばらノリ共同加工施設整備についての事業計画を策定する。</p> <p>(2) 野間漁協と美浜町漁協は三河湾側のノリ漁場の活用について協議を進める。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメ養殖漁業者は、フリー配偶体の種系を活用するなど、ワカメ生産技術の改善に努める。</p> <p>(4) ノリ養殖業者は、魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1) 野間漁協は組合直売施設の整備について美浜町、美浜町観光協会、協議会と事業計画の策定を行う。</p> <p>(2) 美浜町漁協は蓄養施設を活用して砂出したアサリの出荷に取り組み魚価の向上を図る。また、貝類直販施設の検討を進める。</p>
---------------------	--

	<p>(3) 全ての漁協、町及び県は、地域の小学校で漁業者が漁業や魚食について伝える出前授業などの食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4) 全ての漁協、町、協議会は、名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての提供などにより周辺地域や県外での認知度向上を進めていく。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1) 全ての漁業者は船底清掃を定期的に行うことで燃費効率を高め、経費の削減を図る。</p> <p>(2) 全ての漁業者は、漁船の機関やノリ乾燥機の生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入することで経営基盤の安定・強化を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業 (①- (1))</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (⑥- (2))</p> <p>愛知県栽培漁業関係事業 (②- (1)、④- (3))</p>

4年目（令和8年度）所得向上率（基準年比）4.5%

漁業収入向上のための取組	<p>①アサリ、二枚貝資源再生への取組</p> <p>(1) 全ての漁協の採貝漁業者は、水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ、二枚貝漁場の環境保全に努める。</p> <p>(2) 採貝漁業者及び漁協は、豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し、生残率を高めるための効果的な放流を実践し、結果の検証を行う。</p> <p>②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組</p> <p>(1) 母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、全ての漁協は県の栽培漁業センターで生産されたハマグリ種苗を放流する。</p> <p>(2) 協議会でブランド名を協議し付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。</p> <p>③未利用貝の活用</p> <p>(1) 採貝漁業者、漁協及び協議会は、これまで利用されていなかった、カガミガイやシオフキなどの貝類についての付加価値を高め販路を開拓する。</p> <p>④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進</p> <p>(1) 野間漁協は、ばらのり共同加工施設の実施設計を行う。</p> <p>(2) 野間漁協と美浜町漁協は三河湾側のノリ漁場の活用について協議を完了する。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメ養殖漁業者は、フリー配偶体種糸を活用するなど、早期出荷にむけた取組によって、ワカメ生産の増大を図る。</p> <p>(4) ノリ養殖業者は、魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹</p>
--------------	---

	<p>底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1)野間漁協は組合敷地内に整備する組合直売施設について実施設計を行う。</p> <p>(2)美浜町漁協は蓄養施設を活用して砂出したアサリの出荷に取り組み魚価の向上を図る。また、貝類直販施設の実実施設計を行う。</p> <p>(3)全ての漁協、町及び県は、地域の小学校で漁業者が漁業や魚食について伝える出前授業などの食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4)全ての漁協、町、協議会は、名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての提供など、周辺地域や県外での認知度向上を進めていく。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1)全ての漁業者は船底清掃を定期的に行うことで燃費効率を高め、経費の削減を図る。</p> <p>(2)全ての漁業者は、漁船の機関やノリ乾燥機の生産性の向上、省力・省コストに資する漁業用機器等を導入することで経営基盤の安定・強化を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業（①－(1)）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑥－(2)）</p> <p>漁業生産力強化総合対策事業（④－(1)、⑤－(1)(2)）</p> <p>愛知県栽培漁業関係事業（②－(1)、④－(3)）</p>

5年目（令和9年度）所得向上率（基準年比）12.4%

漁業収入向上のための取組	<p>①アサリ、二枚貝資源再生への取組</p> <p>(1)全ての漁協の採貝漁業者は、水産多面的機能発揮対策事業を活用しアサリ、二枚貝漁場の環境保全に努める。</p> <p>(2)採貝漁業者及び漁協は、豊川河口産稚貝の種苗放流を積極的に進め、県と協力し、生残率を高めるため前年度までの検証結果を踏まえた効果的な放流を実践し、アサリ資源の維持・増大を図る。</p> <p>②ハマグリ資源管理と高付加価値化への取組</p> <p>(1)母貝保護を目的とした資源管理を行うとともに、全ての漁協は県の栽培漁業センターで生産されたハマグリ種苗を放流する。</p> <p>(2)協議会でブランド名を協議し付加価値化を図るとともに、名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。</p> <p>③未利用貝の活用</p> <p>(1)採貝漁業者、漁協及び協議会は、これまで利用されていなかった、カガミガイやシオフキなどの貝類についての付加価値を高めて販売することで所</p>
--------------	---

	<p>得向上を図る。</p> <p>④ノリ養殖業およびワカメ養殖の推進</p> <p>(1) 野間漁協は、ばらのり共同加工施設の整備を行う。</p> <p>(2) 野間漁協と美浜町漁協は三河湾側のノリ漁場を活用し、良質な黒のり生産を行う。</p> <p>(3) 美浜町漁協のワカメ養殖漁業者は、フリー配偶体種糸を活用するなど、早期出荷にむけた取組によって、ワカメ生産の増大を図る。</p> <p>(4) ノリ養殖業者は、魚やカモの食害防止のために防除網の設置等の対策を徹底し、生産量の増加に努める。</p> <p>⑤ブランド化推進と組合直販施設の整備</p> <p>(1) 野間漁協は組合直売施設を組合敷地内に整備し、美浜町観光協会、協議会と連携し活用する。</p> <p>(2) 美浜町漁協は蓄養施設を活用して砂出ししたアサリの出荷に取り組み魚価の向上を図る。また、貝類直販施設を整備し、美浜町観光協会、協議会と連携し活用する。</p> <p>(3) 全ての漁協、町及び県は、地域の小学校で漁業者が漁業や魚食について伝える出前授業などの食育活動等に取り組み、地域における認知度向上、消費拡大を図る。</p> <p>(4) 全ての漁協、町、協議会は、名古屋市などの都市部で開催される食のイベント等でのPR、ふるさと納税返礼品としての提供などにより周辺地域や県外での認知度向上を進めていく。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>⑥漁業コスト削減の取組</p> <p>(1) 全ての漁業者は船底清掃を定期的に行うことで燃費効率を高め、経費の削減を図る。</p> <p>(2) 全ての漁業者は、漁船の機関やノリ乾燥機の生産性の向上、省力・省コストに資する漁業用機器等を導入することで経営基盤の安定・強化を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業 (①- (1))</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (⑥- (2))</p> <p>漁業生産力強化総合対策事業 (④- (1)、⑤- (1) (2))</p> <p>愛知県栽培漁業関係事業 (②- (1)、④- (3))</p>

(4) 関係機関との連携

<p>行政 (愛知県農業水産局水産課)、普及 (愛知県知多農林水産事務所水産課)、愛知県漁業協同組合連合会、愛知県信用漁業協同組合連合会と本プランの推進及び進捗管理について連携を図り、課題解決に向けた取組を着実に実施する。</p>

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

ノリの生産枚数	基準年	平成 29 年度～令和 3 年度：生産枚数 34,735,367 枚 (5 中 3 年平均)
	目標年	令和 9 年度：生産枚数 35,430,074 枚

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>所得目標の構成要素のうち、所得向上への寄与が大きいことから「ノリの生産枚数」を所得目標以外の成果目標とした。</p> <p>この成果目標は、美浜町漁協のノリ養殖業者が廃業して令和 2 年以降ノリを生産していない三河湾側の漁場を、野間漁協のノリ養殖業者が利用することで、三河湾側のノリ生産枚数を回復させることを目指している。</p> <p>ノリの生産枚数は近年減少傾向だが、増加させる生産枚数は、過去の三河湾側の生産枚数を根拠としており、美浜町の三河湾側では同町の伊勢湾側より良質なノリが生産される傾向にあるため、目標年の生産枚数は妥当である。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業生産力強化総合対策事業	漁港背後集落における海業支援施設の整備及びばらのり共同加工施設の整備（野間漁協）。

	直売施設の整備（野間漁協）
水産多面的機能発揮 対策事業	干潟の保全活動等の支援（2漁協）
競争力強化型機器導 入緊急対策事業	生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入支援（2漁協）
新規漁業就業者総合 支援事業	新規漁業就業者を確保するための支援（2漁協）
愛知県栽培漁業関係 事業	種苗放流事業の実施（2漁協）
愛知県漁業生産力強 化総合対策事業	施設の就労環境改善・衛生管理強化等のための共同利用施設の新設・改築への支援（2漁協） 直売施設の整備（野間漁協）
6次産業化推進整備 事業	地元で獲れる魚介類の高付加価値化及び未利用資源を利用した水産加工物の商品化